

巻き爪やタコ・ウオノメなど、足の不調を放置していませんか 「足」をケアしていつまでも健康で快適な生活を

光生病院



藤九和佳奈さん

近年増加傾向にある糖尿病からの透析患者などに対して、専門的なケアや指導を行うのがフットケア外来です。特に足は血流障害などを起こしやすく、ほんの小さな傷から重症化することもあり専門的な診察が注目されています。巻き爪や足裏のタコ・ウオノメ、乾燥

抑えられるよう心掛けています」と藤九さん。
海外ではフットケアの重要性が認知されていて、ドイツは特に力を入

問い合わせ
社会医療法人 光生病院
岡山市北区厚生町3-8-35
☎ 086-222-6806
<https://www.kousei-hp.or.jp/>

光生病院

検索

「第2の心臓」と呼ばれるが、普段見落とされがちな足の健康。快適な日常生活を送れるよう足のケアを行う「フットケア外来」の役割について、光生病院の看護師・藤九和佳奈さんに聞きました。

◇

「第2の心臓」と呼ばれるなどをケアし、病変の早期発見や治療を行うことで重症化を防ぐ役割を担っています。患者は40代から高齢者が多くを占めますが、スポーツをしている人、ジェルネイルによるトラブルなどで来院する若年層もいます。
「フットバスで足を清潔にした後に、爪の溝の掃除や角質の除去、爪切りや病変のケアなどを行います。専門の機器を使ってケアするのですが、爪切りは痛い、怖いと感じている方も多いので、音や動作で不安にならないよう、細かく丁寧に説明してから施術するほか、なるべく痛みを抑えらるよう心掛けています」と藤九さん。
海外ではフットケアの重要性が認知されていて、ドイツは特に力を入

足の専門的なケアが可能な「フットケア外来」

山陽新聞・OHKの生活情報紙

さりお SALIO

2023/2/24掲載